

平成30年度 第1回大分市外部行政評価委員会における主な意見②

※平成30年10月15日開催

2.「総合戦略の施策評価」について

	基本目標	主 な 意 見
1	I しごととにぎわいをつくる	大分市総合戦略のICTの活用は、快適に利用できる情報活用能力の向上と環境整備にむけた施策が中心となっているが、民間、特に中小企業にとっては、ICTの活用による企業の製品・サービス開発強化等を通じた生産性の向上や、人手不足等への対応におけるICTの活用といったことが重要である。このような観点も踏まえながら的確に施策を展開していく必要がある。 安定した雇用の確保については、策定時より、さらに人手不足が深刻化していることから、緻密な施策の展開が必要であると考えられる。
2	II 人を大切にし、 次代を担う若者を育てる	若い世代に対してはSNS等を活用した広報が効果的であるため、事業を進める際には、同世代の若い職員を配置する等、若者と同じ目線で事業を進めることが重要である。
3	IV 安全・安心な暮らしを守り、 未来をつくる	今後、発生が予測されている南海トラフ地震に対しては、東日本大震災や熊本大分地震等の被災地から明らかになった課題等を検証し、防災・減災対策を展開する必要がある。例えば、DCAT(災害派遣福祉チーム)に対する支援や増加する外国人観光客への災害時の対応など、様々な観点からの対策が必要である。